



Mobil SHC Cibus™ 32 HT (モービル SHC シーバス 32HT)

Mobil Industrial , Japan

NSF H1 登録の熱媒体油

製品の概要

Mobil SHC Cibus™ 32 HTは、NSF H1登録潤滑油が要求される密閉系間接加熱設備での使用を目的とした合成系高性能熱媒体油です。本製品は、熱分解と酸化耐性を発揮するように処方されているため、潤滑油寿命を延長し、堆積物やスラッジ生成を抑制できる製品です。

Mobil SHC Cibus 32 HTの粘度特性は、効果的な熱伝達を実現するとともにシステムの効率を最大限にするように慎重に選定されています。低粘度特性により、低温性が良好なため、低温環境下でも容易に起動できます。

Mobil SHC Cibus 32 HTは、比熱や高熱伝導率などによって優れた熱伝達特性を持つように設計されており、急速な熱拡散を可能にし、それによってシステム全体向上を可能します。さらに、Mobil SHC Cibus 32 HTは、揮発性が低いため、熱媒体油の消費量を低減することができます。

Mobil SHC Cibus 32 HTは、NSF H1に登録され、カナダ食品検査庁 (CFIA) に認められている製品であるため、偶発的に食品と接触する可能性がある用途に適しています。さらに、Mobil SHC Cibus 32 HTは、ISO 22000に認定され、ISO 21469の要求も満たしている工場で生産されているため、最高レベルの製品品質が維持されます。Kosher(Parve) およびHalal の食物規定に基づく用途にも適しており、ナッツ類、グルテン、小麦および動物性食品を含まずに処方されています。また、DIN 51522の要求およびその試験に適合しています。

Mobil SHC Cibus 32 HTは、ExxonMobilが提供するNSF H1登録潤滑油製品群の内の一つであり、食品および飲料製造業向けの製品です。

製品の特長と利益

特長	長所と期待できる利益
NSF H1 登録潤滑油	偶発的に食品と接触する可能性がある食品や飲料の包装および処理用途での使用に適している
ISO 22000の認可を受けISO 21469に登録された工場で製造	独立機関によって認証を受けた品質保証
高い粘度指数	高温でも粘度と油膜を維持して設備を保護
ワックスを含まず、低流動点特性	優れた低温流動性により、起動が容易
耐熱分解性能	スラッジや炭化物堆積をなくし、熱伝達能力低下を最小限に抑え、保全作業を最小限にする
良好な熱的特性	伝熱システムの運転効率を向上させる

用途

取り扱いと保管に関する注意事項

Mobil SHC Cibus 32 HTはその他のMobil SHCブランドの潤滑油と同様に屋内に保管し、H1潤滑油以外の製品とは隔離された場所に保管することが推奨されます。はっきりと標示され他の製品とは別の指定された屋内区域に保管するのが理想的です。ドラム缶やベール缶は、その他のNSF H1潤滑油以外の製品の下または上重ねて保管しないでください。新しい容器では封印の破損が無く、その他傷などがついていない状態であることを確認してください。配送日、パッチ番号および有効記録しておいてください。開封した日付を記録し、開封後は適切な在庫のローテーションに基づき指定される適切な期間中に潤滑油を使用してください。使用後は必ず蓋はすべて閉じて保管してください。容器に未使用のオイルを入れ替えたりしないでください。輸送の際は、は明確に標示されている専用の設備を使用してください。NSF H1潤滑油の正確な製品名を明示したラベルを機械に取り付けてください。

Mobil SHC Cibus 32 HTは、その他のNSF H1登録潤滑油またはNSF H1に登録されていない鉱油系潤滑油と物理的に相溶性がある場合がありますが、混合すると性能およびそのNSF H1登録資格が損なわれる可能性があります。したがって、Mobil SHC Cibus 32 HTの性能を最大限に引き出し、かつNSF H1登録基準に準拠めに、Mobil SHC Cibus 32 HTに変更する前にシステム内を完全に洗浄しフラッシングすることを推奨します。

熱媒体システムでの用途

Mobil SHC Cibus 32 HTは、NSF H1登録の潤滑油が要求される幅広い食品加工用途における密閉型の加熱および冷却システムに推奨されます。これには、食肉加
産加工および飲料加工、インスタント食品、および動物性食品の製品加工が含まれます。さらに、この製品は、高温の潤滑油が大気に直接さらされる開放系での使
推奨されません。油漏れ箇所から高温のMobil SHC Cibus 32 HTが噴霧したり噴出した場合には、自然発火する危険性があります。

密閉系での最高バルク温度は280°Cで、最高境膜温度は295°Cです。 潤滑油の最高使用温度は高温にさらされる時間に依存します(システムの設計や流量などに
なります)。適切な運用については、装置メーカーに確認してください。なお、推奨される条件は以下通りです。 1)ヒーター部においてレイノルズ数10,000以上の乱
持ってください。2)ヒーター部において局所的に高い境膜温度になると潤滑油の寿命を短縮するため、(ヒーターメーカーの指示に従って)局所的な高い熱流がで
にしてください。3)潤滑油の酸素との接触は潤滑油の寿命短縮につながるため、酸素との接触を最小限に抑えるために窒素ガスを封入してください。

Mobil SHC Cibus 32 HTの寿命を最大限に延ばすために、定期的な使用油分析とモニタリングを行うことが推奨されています。 システムにMobil SHC Cibus HT 32を
てから1か月後に潤滑油の初期状態のチェックを実施し、その後は6か月毎に継続的に使用油分析を実施することを推奨します。

本製品は、21 CFR 178.3570により規定される偶発的な食品接触のみを想定しています。

Mobil SHC Cibus 32 HTは 21 CFR 178.3570により規定される偶発的な食品との接触の恐れがある箇所の潤滑油としての使用に関してNSF H1 登録されています。I
食品接触を伴う潤滑油としては使用しないでください。

Mobil SHC Cibus 32 HTは、化学工業、製薬、樹脂成型などのさまざまな産業における密閉系熱媒体システムにも使用できます。

規格および承認

この製品は次の承認を得ています:	
Kosher & Parve	
Halal	
この製品は、次の工業規格の登録があります:	
NSFH1	
NSFHT1	
この製品は、次の工業規格を満たすか、またはそれを上回ります:	
Canadian Food Inspection Agency Acceptance	
DIN51522:1998-11	
FDA21 CFR 178.3570	

代表性状

Mobil SHC Cibus 32HT	
色相、ASTM D1500	0.5
密度@15°C、kg/l、ASTM D4052	829
引火点、クリーブランド開放式試験、°C、ASTM D92	234
動粘度@100°C、mm2/s、ASTM D445	5.91
動粘度@40°C、mm2/s、ASTM D445	30.4
流動点、°C、ASTM D97	-54

Mobil SHC Cibus 32HT	
粘度指数、ASTM D2270	135

健康と安全

本製品の健康と安全に関する情報については、<https://sds.exxonmobil.com/>にある安全データシート(SDS)をご覧ください。

特に明記されていない限り、ここで使用されている商標は全て、Exxon Mobil Corporationまたは同社の子会社の商標または登録商標です。

05-2023
ExxonMobil Japan Godo Kaisha
Shinagawa Grand Central Tower
2-16-4, Konan, Minato-Ku,
Tokyo, 108-8218,
Japan

Typical Properties are typical of those obtained with normal production tolerance and do not constitute a specification. Variations that do not affect pro performance are to be expected during normal manufacture and at different blending locations. The information contained herein is subject to change without nc All products may not be available locally. For more information, contact your local ExxonMobil contact or visit www.exxonmobil.com

ExxonMobil is comprised of numerous affiliates and subsidiaries, many with names that include Esso, Mobil, or ExxonMobil. Nothing in this document is intende override or supersede the corporate separateness of local entities. Responsibility for local action and accountability remains with the local ExxonMobil-affiliate entit

